

三川坑跡

- 所** 大牟田市西港町
料 無料(施設ガイドあり)
時 4~11月 10:00~17:00
 12~3月 10:00~16:30
休 平日(土日祝のみ公開)、年末年始
問 0944-41-2501
交 (西鉄バス)「三川町一丁目」下車
 徒歩3分



昭和15年に開坑した坑口で、昭和天皇がご入坑されたことでも知られる三池炭鉱の主力坑。1908年製の国内最古級の電気機関車(炭鉱電車)など4台が展示されており、当時の面影を見ることが出来る。「鑄」や「鉄」などのキーワードに反応する方には特にオススメです。



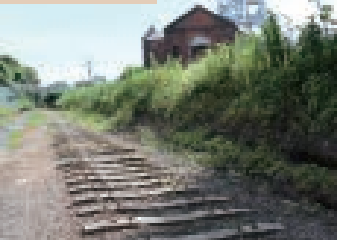
日本の近代化を支えたモノ

宮浦石炭記念公園

三池炭鉱で唯一現存する、「炭坑節」に歌われた煙突がある公園。



三池炭鉱専用鉄道敷跡



石炭のほか、炭鉱の資材運搬や、坑夫の移動などに使われていた線路の跡。

旧長崎税関三池税関支署



所 大牟田市新港町1-25
時 9:30~17:00
休 平日(土日祝のみ公開)、年末年始
 三池港開港とともに開庁。三池炭鉱の石炭が海外へ輸出されたことを示す貴重な施設。

旧三川電鉄変電所



現在は企業の社屋になっている、1909年建設の変電所跡。

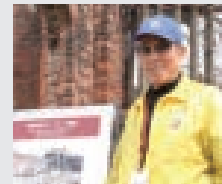
旧三池集治監外堀



レンガ造りの一部が今なお残っています。(現：三池工業高校)

2015(平成27)年に「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」の構成資産として、世界文化遺産に登録。当時の面影を残す第二堅坑槽は、高さ約22mで、現存する鋼鉄製の槽では、日本最古。赤レンガの巻上機室は、「イギリス積み」と言われる組み方で、窓や出入り口がアーチ状になっています。

施設ガイドの方の中には、当時、炭鉱で働いていた方も多くいるため、当時の空気感やエピソードを交えたガイドを聞きながら施設を見るのがオススメです。歴史を感じるひとときに浸ることが出来ます。



世界遺産 宮原坑

- 所** 大牟田市宮原町1丁目86-3
料 無料(施設ガイドあり)
時 9:30~17:00
休 月曜(祝日の場合は翌平日) 12/29~1/3
問 0944-41-2750
交 (西鉄バス)「早鐘眼鏡橋」下車
 徒歩10分

